

平成25年2月1日現在

医療機関の先生方へ *印は非常勤医師

地域連携室

患者さんのご紹介予約は、FAXにてお受けしております。詳しくは地域連携室へお問い合わせいただくか病院ホームページをご覧ください。

予約受付
(月曜日～金曜日 午前8時30分～午後6時)

TEL083-901-6187 FAX083-928-3357
E-mail:renkei@yamaguchi.saiseikai.or.jp 担当 河嶋 裕子

「Life～ライフ～」・その他病院に関するご意見・ご要望等は、病院内に設置しております「ご意見箱」にご投函いただくか、または病院宛にご郵送等にてお願いいたします。

濟生堂山口総合病院
〒753-8517 山口市緑町2-1
TEL 083-901-6111(代表)
FAX 083-921-0714



花粉症対策 していますか？

〈耳鼻咽喉科部長 豊田 英樹〉

Q. 花粉症の正体って一体なんですか

A. 花粉症の正体は、花粉に対して人間の体が起こすアレルギー反応です。体の免疫反応が、花粉に過剰に反応して花粉症の症状がでるのです。

Q. 花粉が鼻や目に入ると、どうして花粉症の症状がでるのですか

A. 体が花粉を外に出そうとするために、「くしゃみ」で吹き飛ばしたり、「鼻水」「涙」で花粉を洗い流そうとしているのです。

Q. 花粉症と間違えやすい疾患は何ですか

A. 花粉症は季節的にも風邪の流行する時期に重なります。このため、発症の初期では「くしゃみ」「鼻水」が症状として同じことがあります。また急に悪化した他の鼻疾患、たとえば慢性副鼻腔炎（蓄膿症）などとの鑑別が必要になります。

Q. 花粉症の診断はどうやってするのですか

A. 花粉症の診断の多くは、花粉飛散時の症状の有無と血液中にある花粉に対する抗体の存在で診断されます。さらに、耳鼻咽喉科では鼻の粘膜を直接みて、アレルギーの反応を観察します。

Q. 早く治療すると、どのようなメリットがあるのですか

A. 花粉症の症状が起こりはじめたごく初期では、鼻粘膜にまだ炎症が進んでおらず、この時期に治療を開始すると粘膜の炎症の進行を止め、早く正常化させることができるため、花粉症の重症化を防ぐことができます。

Q. 花粉症の症状がでたらどの病院に行けばいいですか

A. ひどい鼻の症状がある場合は耳鼻咽喉科、目の症状がひどい場合は眼科をおすすめします。内科、小児科、アレルギー科などでも診療が受けられます。

Q. 花粉症にはどんな治療法がありますか

A. 花粉症の治療には、医療機関で行う薬物療法、手術治療、減感作療法（正式には抗原特異的免疫療法と言います）があります。しかし、治療を行うことと平行して、自らが花粉になるべく接触しない様に身を守ることが前提となることはいうまでもありません。

Q. 花粉症の治療にはどのくらいお金がかかりますか

A. 3割負担の方で、初診時、採血検査を行う場合 6,000 円前後かかります。（当院では、初診時に紹介状を持参されない場合、特定療養費（2,000 円）がプラスされます。）
さらに、薬剤（経口薬、点鼻薬、点眼薬など）処方する場合約 6,000 円前後で、個人の症状により異なります。

Q. 花粉症は完治できるのですか

A. 現在、完治の可能な治療法は減感作療法だけです。しかし、現在の治療法では、完治する率は決して高くありませんし、また副作用の問題や治療に長い期間がかかるため、現在も新しい減感作療法の研究が進められています。



【参考資料：厚生労働省ホームページ、花粉症対策より】

へいしーきのこ生薑スープ (3人分)



2月になっても寒い日が続きます。体が温くなる生姜を使った料理はいかがですか？生姜には身体を温め、新陳代謝を活発にする効果があるため風邪の予防にもなります。食物せんいも多く、コレステロール値を下げたり、血糖値の急激な上昇をおさえる低カロリーのきのこも入っています。さらにギョーザやハムなどを入れると蛋白質も多くなります。



調理例

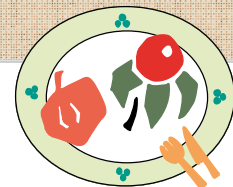
《作り方》

- ①きのこは石づきを切りおとし、ほぐしておきます。生姜は千切りにします。
- ②鍋にごま油を熱して生姜を炒め、きのこも加えてさらに炒めます。
- ③水と鶏がらスープの素を加えて煮込み、きのこに火が通ったらオイスターソースを加えて（味を見て）塩コショウで味を調えます。酢はお好みで最後に入れて、出来上がりです。

《材 料》（3人分）

栄養成分（1人分）
熱量 50 kcal 蛋白質 3.2g 塩分 1.8g

しめじ	1パック
えのき茸	大1パック
※きのこは色々変えてもOK	
生姜	1カケ
ごま油	大さじ 1／2
水	4カップ
鶏がらスープの素	小さじ 2
オイスターソース	小さじ 2～3
塩コショウ	適量
酢	（お好みで）小さじ 2



済生会
山口総合病院
職 場 紹 介
コーナ

◆◆◆ No.01

東3階病棟

ひがしさんかいびょうとう

東3階病棟は消化器疾患（食道・大腸・肝臓・胆のう・すい臓等）、血液内分泌疾患（糖尿病・白血病・悪性リンパ腫等）の専門的治療を主として行っています。内科一般及び整形外科（リハビリ期を中心に）を含む57床の病棟です。病棟スタッフは病棟医長の下田稔也医師を中心に、看護師29名、看護助手、病棟クラークで構成されています。

クリニカルパス（入院診療計画書）を作成し、医師・看護師・薬剤師・栄養士等さまざまな職種でチームで治療に対応しています。また、慢性疾患で自己管理が必要な患者さんや悪性疾患の患者さんに対して、患者家族を含め医療者との信頼関係を図り、きめ細やかな医療・看護を心がけています。

廊下からはNHK山口放送局や山口情報芸術センターが望め、広い芝生や四季折々の木々の変化が見られます。

